

浪能クランδροマン 上演台本（第2稿）

*(Un journal du mal à Senbayashi )*

# 干林怪人日記

安倍 枕流

## 【登場人物】

弟（戦闘員）

兄（赤戦闘員）

父（怪人）

ミチ（喫茶店のバイト）

おやっさん（喫茶店のマスター）

闇の中、音楽(特撮モノのテーマ音楽とか千林商店街のテーマとか)がかすかに聞こえてくる。例えば、「仮面ライダー」(1971)や「シラーマン」(1971)や「アイアンキング」(1972)や「インボーメン」(1972)など。  
廳(やが)で、下手の窓からうすすらと西陽が差し込んでくると、そこは築三〇年の古アパート。無人の茶の間。卓袱台の上に書き掛けの手紙。窓際に、蕾の付いた鉢植え。鉄橋を渡る電車の音がする。

やゝあつて、郵便物を手にした弟が、上手から這入ってくる。

弟は、ピンクチャシの束を片端からゴミ箱に抛り込んでゆき、最後に、ダイレクトメールの類を纏めて棄てようとして、一通の黒い封筒に眼を留める。おもむろに封を切つて、中身を取り出し、眼を通す。

弟

……そう、お父ちゃんと兄ちゃんがこの家を出ていったんも、こんな晴れた日のことでした……

再び鉄橋を渡る電車の音、轟音となるや、照明変化して――。

1 雪花 ゆきばな *la fleur de neige*

同じ茶の間。半年前。

弟が寝転がつて、客席側のテレビを見ている。

買い物袋を下げて帰ってくる兄。

たどいま……

お帰り……

買物、まだ行つてへんのか……？

うん……

今日、サテイ、安売りやろ……

それより、兄ちゃん……

(鞆から戦闘員タイツを取り出しながら)何や……

さつきテレビで云うてんけど……

何や？ また何か、新しい健康グッズか……？

そんなんに関心あんのん、兄ちゃんだけや……

何いうてんねん、下のおばちゃんかて――

デフレ・スパイラルつて、何や……？

え……

デフレ・スパイラル……

兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄





兄弟兄  
ヘルシー・グリーン・ドリンク……  
アホらし……

お前こそ、そんな、健康に気イ使わん生活しとったら、エライことなるぞ、将来……  
(テレビを消して、買物に行く支度をする) 兄ちゃんこそ、気イ使い過ぎちゃうか……  
アホ云え。俺らの仕事は躰が資本やないか……

けど、健康に気イ使う悪の秘密結社なんて聞いたことないわ。悪の秘密結社なんやったら、もつと、  
こう、悪らしく……

兄弟兄  
悪の秘密結社かつて、健康には注意せなアカンやろ……。中性脂肪とかコレステロールとか尿酸値  
の高いヤツが、水道に毒入れたり、幼稚園バス襲たりできるか……？

兄弟兄  
できるで、それくらいやったら……

兄弟兄  
いや、何というても、俺ら戦闘員はやな、あの憎たらしい仮面超人と戦わなアカンねんど……  
そらまあ、そうやけど……

兄弟兄  
健康な肉体と不健全な精神、この二つ無くして、どない戦えるいうねん……？

兄弟兄  
せやから、トレーニングはしてるやないか、ちゃんと週二回……

兄弟兄  
え、か、トレーニングは、あら、躰を外側から鍛えるもんや。けど、内側から鍛えるのんは、健康食  
品や……

兄弟兄  
そやろか……

兄弟兄  
勿論やないか……。適度な運動と健康食品、この二つ無くして、どない中性脂肪とかコレステロー  
ルとか尿酸値を下げられるいうねん……

兄弟兄  
いや、健康に成んのが目標とちやうやろ……

兄弟兄  
何云うてんねん、「小さなコトからコツコツと、千里の道も一歩から、世界征服は千林から」が俺ら

兄弟兄  
千林支局の合言葉やないか……！

兄弟兄  
俺、どうしても、三つ目のフレーズに馴染めへんねんけど……

兄弟兄  
お前なあ、あんまり物分かりの悪いこと云うてると、本社で改造手術受けさせられんぞ……

兄弟兄  
そや、ウチの結社つて、改造手術できんねんから、成人病とか痛風かて、手術で、こう、サツと治せ  
るんのとちやうのん……？

兄弟兄  
相変わらずアホやなあ、お前……

兄弟兄  
何でやねん……

兄弟兄  
そないなポジティブな技術持つとったら、世界征服なんかせえへんでも、世界的医療会社としてや  
つてけるがな……。ウチの技術は、お天道さんの下では堂々とでけん、ブラックでノワールな、マッ  
ド・サイエンティスト御用達の技術やから、アンダー・グラウンドでこそそやつとんのやないかい……

兄弟兄  
……

兄弟兄  
そりや、まあ……

兄弟兄  
縦しんば、そないな技術があつたとしてもや、改造手術で、ナンボ金掛かる思てんねん……？ こ

兄弟兄  
の不況のさなか、我社の業績も伸び悩み、ボーナスの一律カットは勿論のこと、俺ら戦闘員にとつ  
て貴重な臨時収入である「仮面超人手当」すら引き下げられてるきようびやで、そないなワタクシ

兄弟兄  
ゴトの手術に保険使てやつてられるかいな……

兄弟兄  
はあ……

兄弟兄  
健康管理は個人の責任、こら当たり前のこっちゃ……。てなわけで、健康食品が大切に成るわけ  
や……

兄弟兄  
それは判ったけど、やっぱ、健康食品やないと思うで、たゞのお茶は……

兄 せやから、お茶つて云うなあ……！

ところへ帰ってくる父親。父親はサルの恰好に秘密結社のベルトを巻いている。

弟 あ、お父ちゃん、お帰り……

父 これら、戦闘員2号、勤務中はちゃんと怪人名で呼ばんかい……！

弟 けど、こゝ、家やで……

父 アホ、何度も云うてるやろ、こゝは自宅兼関西本社管轄北河内支部内千林支局やないか……

兄 そない云うたかて、メチャメチャ日常生活やで、その恰好……

弟 俺らは戦闘員やから、しゃあないやないか……。大体、着替えるのんも、現地集合してからやし……

：

父 兎に角、儂が勤務中云うたら、勤務中や！ 戦闘員2号、留守中、異常は無かったかッ……！

父 ハイ、異常ありませんッ、ニホンザル男様……！

父 戦闘員1号、偵察結果を報告せよッ……！

兄 ハイ、京阪千林から地下鉄千林大宮にかけて、千林一丁目、同二丁目、森小路二丁目、いずれも

問題ありませんッ。京阪滝井、地下鉄太子橋今市地区に関しては、戦闘員2号がバイトに出た際

に偵察する予定でありますッ。なお、偵察中、新型健康食品の入手に成功しましたッ……！

父 新型健康食品……？

父 ハイ、ティー・バッグ型の健康飲料、「ヘルシー・グリーン・ドリンク」でありますッ……！

父 何やそれ、青汁の一種か……？

父 ちやうちやう、ティー・バッグ型のだのお茶やで……

兄 お茶つて云うなあ……！

父 まあえ、丁度、お茶切れ掛つてたところやし……

兄 ニホンザル男様、せやから、あれはお茶とは——

父 よしッ、定期報告完了ッ！ 全員、勤務を解くッ！ 解散ッ……！

兄・弟 (右腕を伸ばし) イーッ……！

父 (坐わり込み、伸びをする) どういしよ……ヤレヤレ……

弟 なあ……

父 何や……？ あ、ちよと肩揉んでくれ……。オ兄ちゃん、さっきのお茶——やのうて、健康飲料、

父 淹れてきてんか……

お茶を淹れに行く兄。弟は肩を揉み出す。

父は、徐ろに新聞を開き、眺め始める。

弟 (揉み乍ら) 変やで、自宅兼支局やなんて……

父 変なことあるかい……。北河内支部内の支局なんて、今や殆んど、自宅兼支局やないか……

弟 でも、他んところは、皆んな支局長だけしかおらへんところで、一人暮らしやないか……。一家で支

局やつてるとこなんて、ウチだけや……

父 アット・ホームでええやろ……。余所にはない特典や……

父 それどころか、反対に窮屈やちゆうねん……

父 そら、一寸、三人暮らしには狭いかもしれへんけどな……

物理的にもそやけど、精神的に……  
 (お茶を淹れてくる)何や、難しこと云い出しよったな……  
 兄ちゃんにはわかれへん……  
 あ、お前も呑むか、健康飲料……？  
 お茶はいらんわ……  
 だから、お茶つて云うなあ……！  
 精神的に窮屈て、どういうことや……？  
 お父ちゃんが怪人で、兄ちゃんが赤戦闘員で、俺がヒラの戦闘員……。朝九時になったら悪の秘  
 密結社の支局モードで、夕方の五時になったら日常モード……。まるでオマ、ゴトみたいや……  
 そんな窮屈なんか……？ あ、次、腰な……(ト、俯せになる)  
 うん……  
 けど、他の小さい会社かてあるやろ、お父さんが社長で、お母さんが専務、息子が部長とかいう  
 と……  
 まあ……  
 大体、四六時中一緒におるわけやなし……。残念ながら、組織の手当だけではやってけんから、  
 皆んなバイト出てるんやないか……  
 そやけど……  
 どうせ、また、いつものヤツちゃうんか、直ぐイヤになるいつもの癖……  
 そんなんとちゃう……  
 違わへんて。高校出てから、素直に組織に就職すればええものを、何やかんや云うて、フリーター  
 続けて、けど、どこも長続きせんて、しゃあないから、お父ちゃんのコネで、組織入れてもうてー

五月蠅いなッ……！(ト、父の腰を力任せに押さえ付ける)  
 あ痛た……、アカンて、強押さえたら、ベルトんと……  
 (構わず、押し続ける)偶々、合えへんかっただけや……  
 まあ、そういうことにしたら……  
 せやからッ……！  
 アカンッ、アカンてッ、ベルト、アカンてッ、自爆する、自爆するッ……！  
 兄・弟 うわーッ……！(ト、飛び退く)  
 (起き上がり)あー、ヤバかった……。おいおい、頼むで、ほんま……  
 お父ちゃん、ちゃんと自爆装置の点検行ってるか……？  
 行ってるで、ちゃんと。何しろ、あれ行かんと、保険出えへんからな……  
 お父ちゃんの、俺らより旧式やねんから……。頼むで、誤爆で支局壊滅なんてイヤやからな……  
 ……  
 判ってる、判ってる……  
 (弟に)おい、お前もええ加減にせえよ……。コネでも何でも、入社した以上は――  
 組織でも、「入社」いうんか……？  
 「縁故入社」いうやつちゃ……  
 何しろ「悪の秘密結社」やからな、やつば「入社」やろ……  
 せや、これは立派な「就職」や。入社した以上は、ちゃんと忠誠を誓って、悪の道に邁進してもらわ  
 んとな……

兄 お父ちゃんの立場いうのんもあるしな。何しろ、悪の秘密結社全戦闘員の中で、改造人間手術受けて、怪人になるのんは、ごく一部なんやから……

弟 せやから、お父ちゃんは出世してる方や云うんやろ……

兄 お前かて、自分の父親は偉い方がええやろ……？

父 まあ、それ程でもないけどな……(照れる)

弟 けど、怪人になった云うたかて、よりよつて「ニホンザル男」やで……。怪人カードの裏見たかて、書いたある得意技は「蜜柑を食う」、必殺技は「引つ掻く」、シヨボいわあ……

兄 うーん、そう云えばそやねえ……

父 何云うてんねん、最後の隠し技で「木から落ちる」いう捨て身の技があるやないか。フツフツ、まさか、猿が木から落ちるとは思うまい。こいつを使うときは、仮面超人と儂が心中するときや……

兄 いや、そない恰好つけんかて……

弟 そや、たゞの諺ことわざやないか……

父 何ツ？ そないな諺が……？ むう、いつの間にか秘密が……

弟 いや、寧ろ諺の方が先にあつたんやと思う……

兄 大体、そんな技で、仮面超人がどれだけのダメージを受けんのやろ……？

父 ごちやごちや五月蠅うるせいわツ……！ 儂の同期のヤツにはな、ニホンリス男とかニホンカワウソ男とかもおんねんぞ……！

弟 レッドデータ・ブックに載つてる絶滅危機種ばかりや……

兄 けど、ニホンザルて、あんまし価値無いよなあ……

父 ええ、い、やかましわツ……！

弟 けど、そのニホンザル男に率いられてる俺らつて……

兄・弟 「猿軍団」……！

兄 アカン、落ち込んだ……

父 (怒つて)キ、ーツ……！

弟 あ、そう云えば、日光猿軍団でおったよな……？

父 こらツ、日光猿軍団と一緒にすなツ……！

兄 おるおる、あれ、日光江戸村の近所や……

弟 あ、もしかして、日光江戸村支局とかで、素人相手に、仮面何とかシヨ一の営業やらされたりせえへんのやろか……？

兄 おいおい、あつたか、日光江戸村支局なんて……？

弟 慥たじか、聞いたことがあるような……

父 日光江戸村支局……あつこは、バケネコ男がおるんとちやうんか……？

弟 バケネコ男……？

父 ほら、耳がのうて、代わりに丁髷ちんまげ結うてる……

三人 ……

兄 そら、ニヤンまげやツ……！

父 最近は、バケイヌ男、バケパンダ男、バケザル男が加わったとも聞いたが……





弟 けど、おるんか、出撃して、戻ってきたヤツ……  
父 さら、まあ、おるかもしれへんし、おらんかもしれへん……  
弟 何やそら……  
父 ほら、仰山おるさかいに、ウチの社員……  
兄 お前も知ってるやろ、ウチの社員名簿、写真入りの豪華なヤツ……  
父 あ、戦闘員なんて、皆んなマスクかぶってるから、誰が誰か全然わかれへんヤツな……  
弟 一応、制服着用やからな、こういうもんは……  
父 社員名簿が全一〇巻なんて組織、ウチだけで……  
兄 そんなだけ仰山おるいうこっちゃ……  
父 しかも、社員は全員、半強制的に購入して、紳士録やないんやから……  
弟 あれは総務部と事業部が共同で考えよつたんやけど、上手いことやりよんな……  
父 普通、無料配布やろ、社員名簿なんて……？  
父 けど、重要な収入源らしで……  
父 大丈夫なんやろか、ウチの組織って……  
父 いや、これでも、将来性の格付けは——  
父 そや、お父ちゃん、支局歌、歌わへんか……？  
父 何を急に……  
父 最近歌とてへんかったし……  
父 せやなあ……  
兄 やっぱ、一致団結するためには歌やで歌……！  
父 よっしゃ……

兄 (弟に)憶えてるやろ、支局歌……？  
弟 一応、憶えてる心算つもりやけど……  
兄 ほな、一発、景気づけに、パートと歌うでーッ……！  
父 待てッ……！  
兄 お父ちゃん……  
弟 どないしたん、急に……  
父 歌を歌ういうたら……  
兄・弟 歌ういうたら……？  
父 まずは、発声練習に決まるとるやないか……  
兄・弟 ……はあ……  
父 さあ、発声練習いくでー。ハイッ……！  
兄・弟 (音階風に)イーッ、イーッ、イーッ……  
父 ハイッ、下の「イーッ」……！  
兄・弟 イーッ……！  
父 今度は上の「イーッ」……！  
兄・弟 イーッ……！  
父 イマイチ、出てへんなあ……。まあ、えゝわ。悪の秘密結社関西本社管轄北河内支部内千林支局  
支局歌斉唱ッ……！  
三人 ♪正義敗れて 山河在り  
人生足別離(「サヨナラ」ダケガ人生ダ)

父 三人

我等の威光 とこしえに  
世界制覇を果たすため  
小さなコトからコツコツと  
一、十、百、千、千林イーツ  
嗚呼 我等北河内支部内千林支局  
二番ッ……！！

♪城春にして 悪深し

勸君金屈屈(コノサカツキヲ受ケテクレ)

我等の希望 はるかへ

世界征服目指すため

大きなコトは後回し

一、十、百、千、千林イーツ

嗚呼 我等北河内支部内千林支局

終わリッ……！！

……

何回歌とても……

千林商店街の歌に負けとる……

名曲やからなあ、千林商店街の歌は……

しかも、「一、十、百、千、千林」のとこ、パクってるし……

いや、あつちの方は、最後、「千林イーツ」とは伸ばさへん……

そら当然やろ……

父 三人

何回歌とても……

千林商店街の歌に負けとる……

名曲やからなあ、千林商店街の歌は……

しかも、「一、十、百、千、千林」のとこ、パクってるし……

いや、あつちの方は、最後、「千林イーツ」とは伸ばさへん……

そら当然やろ……

父 兄 父 兄 父 兄 弟 父 弟 父 弟 兄 弟 兄 弟 父 弟 父 兄 父 兄

何か、余計志気が下がつてもうたような……

よっしゃ、もう一遍歌おか………？

お父ちゃん、もうええ、ヤメと……

何や、もうええんか………

俺、買もん行つてくるし……

あ………

じゃ………(ト、袋を下げて、出て行こうとする)

おい………

ん………？

また買つて来んなよ、ポテチとか……

判つてるつて………

あ、農には――

判つてるつて………

お………！！

蜜柑やろ………(出て行く)

おい、蜜柑、無農薬のんにせえよ………！！

………

何や、どないしたん………？

ニホンザルかて………

は………？

ニホンザルかて、バナナくらい食べてもかめへんやないか………

父 兄 父 兄 父 兄 父 兄

お父ちゃん……  
外国の絵本の中のサルみたいに、橙色の丸いヤツやのうて、黄色く長やかなヤツが食べたいんや……！  
お父ちゃん、黄色いバナナはアカン……  
それは何でや……？  
黄色いのは……農薬バリバリ使ってる可能性が高いんや……  
……そんな……  
……  
……  
そんな、バナナ……

ト、鉄橋を渡る電車の音。高まって……。暗転。

## 2 明日鳥 あしたのトリ *L'oiseau de demain*

兄

電車の音、いつの間にかミシンの音に変化する。明るくなると、兄が、鼻歌を歌いながら、ミシンで戦闘員服を繕っている。

さっ、完成……！

父 兄 父 兄 父 兄 父 兄 父

嬉しそうに、戦闘員服を繕めつすが眺めつたしてみる兄。  
到頭、最後は、牀の前に当てる、鏡(客席側)に向かって、ポーズをとってみたりする。  
ところへ帰ってくる父。

お前、何しとんねん……？  
(周章てゝ服を丸め)あ、いや、ちよつと……  
(辺り見回して)あいつはバイトか……？  
いや、ちやうと思ふ……  
ほな、何や……？  
さあ……  
まあえゝか……

卓袱台の横に坐わり込むと、持ってきたスポーツ新聞を読み始める父。兄は、弟の戦闘員服を取り出して、仔細に点検すると、ミシンを掛け始める。

父 兄 父 兄

上手なつたな、ミシン……  
まあね……  
掃除・洗濯も……  
多分、素質あつたんやろな……

父 然し、えゝんやろか、これで……  
父 しゃあないがな、誰かせなアカンねんし……  
父 お母ちゃんさえ居てくれれば……  
父 お父ちゃん……  
父 (しみじみと兄の顔を見る)……  
父 (しみじみと父の顔を見る)……  
父 二倍の速度で家事が終わったやろに……  
兄 (ミシンに向き直り)せやせや、こゝういうヤツやったんや、このオッサン……

兄はミシンに、父は新聞に戻る。  
間。

父 ドルゴルスレン・ダグワドルジ……  
兄 (顔を上げ)何……？  
父 (顔を上げ)何……？  
父 いや、何でもない……

間。

父 ドルゴルスレン・セルジブデ……  
兄 (顔を上げ)何やの……？  
父 スムヤヴァザル・ドルゴルスレン……

兄 せやから、何で、朝青龍の本名と、ブルー・ウルフの本名と、その上の兄貴の名前<sup>なま</sup>呟いてんねん……  
父 ……？  
父 知つとったんか……  
父 知ってるわ、それくらい……  
父 ほな、訊くけど、何で、次男の名前だけ、二人の弟と姓名の順番が逆やねん……？  
父 そ、それは……  
父 ほーれ、知つたかぶりするからや……  
父 してへんてば！ ほな、お父ちゃんは知ってんのかいな……？  
父 儂は、お前等に、ドルゴルスレン兄弟のように育つてほしかった……  
父 何を云い出すんや、急に……  
父 大相撲、新日、K-1……  
父 一人足らんがな……  
父 三人目作る前に、お母ちゃんに逃げられた……  
父 せやつたんかいな……  
父 失意のどん底のまゝ、東梅田商店街を彷徨い歩いてた儂の前に、一人の男が立ちよつた……  
父 それは……  
父 辺りの人々とは明らかに異なる雰囲気<sup>きふく</sup>を発しつゝ、その男はこゝう云うた……「チョット、イ、デスカ  
父 ……？」  
父 なーんや……  
父 それは組織の勧誘員<sup>かんすういん</sup>やつた……



父 明日のためにその六、必殺するめ固め……！  
兄 何、それ……？  
父 知らんか、つげ義春……？  
父 さあ……  
父 全く、これやから、きょうびの若いモンは、教養の無い……  
兄 教養か、それ……？  
父 しゃあないな、ほな、明日のためにその七、無能の人……！  
兄 何やの、それ……？  
父 知らんか、つげ義春……？  
兄 だから、知らんてばッ……！  
父 石、売るんやがな、え、石おまつせ……  
兄 そら、つかこうへいや……！  
父 しゃあないな、ほな、明日のためにその八、ゲンセンカン主人……！  
兄 つげ義春から離れいッ……！  
父 知つとるやないかッ……！  
兄 いや、一寸……  
父 まあえ、明日のためにその九——  
兄 いや、ゲンセンカン主人でどんな特訓なん……？  
父 気にすな……  
兄 滅茶々々気になるわ……！  
父 単なる儂の持ちネタや……

父 兄 持ちネタつて……  
兄 明日のためにその十……

とこころへ、帰ってくる弟。

父 弟 たどいま……  
父 弟 おう、えとこ帰ってきた、お前も参加せえ……  
父 弟 は……？  
父 弟 いやな、お父ちゃんが、急に、特訓しよ云い出して……  
父 弟 特訓……？  
父 弟 せや……  
父 弟 けど、トレーニングやったら、週に二回、火曜と金曜に……  
父 弟 俺もそう云うたんやけどな——  
父 弟 儂等は日常性に埋没しとる……！  
父 弟 日常性……？  
父 弟 ほらな、訳分からんこと云い出す始末や……  
父 弟 アホッ、こないな日々が、いつまでもたらだら続くとしたら大間違いやぞ……！  
父 弟 けど、続いてるやん……  
父 弟 明日を、将来を考えんかい……！  
父 弟 考えてるからこそ、健康食品を——  
父 弟 ほなら訊くぞ……

兄 何やねんな……  
父 明日はどつちや……？  
兄 判れへんわ、そんなもん……  
父 親のある奴あ故郷へ帰れ……  
兄 親はあんたで、クニ、こゝや……！  
父 俺とくる奴は狼だ……  
兄 あんた、猿やんか……！  
父 だけど、ルルル……  
兄 何でスキヤットやねん……！  
父 やっぱえゝわあ、寺山は……  
兄 歌詞、読んでたゞけかい……！  
父 俺、荷物置いてきてえゝかな……  
父・兄 アカン……！！  
弟 兄ちゃんまで……  
兄 こないなりフジンな状況、俺一人だけ味わゝせられてたまるかい……！  
父 チツ……  
弟 兎に角、活を入れるんや、活を……  
兄 (弟に) な……？  
父 いや、な、つて云われても……  
父 明日のためにその十一……

兄 (弟に) 何もしてへんのに、もう二桁突破しとんねんで……  
父 そこ、静肅にッ……！  
兄 ハイ……  
父 明日のためにその十二、まずは、腹筋五百、背筋五百……！  
父・弟 えー……！！  
父 つべこべ云うな……！！  
弟 けど、特訓いうたら、もう一寸、何か特別なことすんどちやうのん……？  
兄 せやせや、これやつたら普通の訓練、普訓やがな……  
父 お前等、仮面超人の必殺技いうたら、何や……？  
兄 そら、「超人キック」や……  
父 あー、あれな。イッパツやわ、あれ喰らたら……  
父 奴はどこ狙ろてくる……？  
父 まあ、腹やろなあ……  
父 腹蹴られてもこたえんためには……？  
父 そりや、腹筋を鍛える……  
父 蹴られても平気なように腹筋を鍛え、その衝撃を吸収できるように背筋を鍛える……  
兄 おゝ、何か、トテモ合理的なような……  
父 せやろか……  
父 判つたら、とつとつ、明日のためにやらんかい……！！  
父・弟 へーい……(渋々腹筋を始める)  
父 これで腹筋、背筋鍛えたら、「従順平均台」にぶら下がって、『奴婢訓』にかて出られるッ……！！



兄 寺山に戻つとるがな……  
弟 あ……(ト、腹筋を中断する)  
父 どないした……？  
兄 今、氣イ付いたんやけど……  
弟 (腹筋しながら)コラ、続けながら喋れ……  
兄 超人キックつて、俺等のベルト狙ろてんのとちやうやろか……？  
弟 (腹筋しながら)せやな、何ちゆうたかて、自爆装置仕込んだあるもんな……。キックのショックで、  
兄 自爆装置が作動して――  
父 (天を仰ぎ)卑劣なり、仮面超人……！ 奴の姑息な手段によつて、今まで幾人いくたりの同僚が散華して  
弟 いったことか……！  
父 でも、ベルト蹴られるんやったら、腹筋鍛えたかてしゃあないのでは……？  
父 ……  
弟 な……？  
兄 (腹筋中止。非難がましく)お父ちゃん……！  
父 うむ……、それも一理ある……  
兄 いや、一理どこやのうて――  
父 (弟に)よくぞ氣イ付いた。合格ツ……！  
兄 試験なん、今の……？  
父 (兄に)ブーッ！ 教育的指導……！  
兄 そんなんありかよーッ……！

父 さあ……？  
兄 さあ、つて……  
父 才兄チャン、答えるんや……  
兄 何をいな……？  
父 明日や……  
兄 明日……？  
父 明日を探せ……！  
兄 今度はウルトラセブンで来たか……  
父 俺はキリヤマ隊長とちやうぞ……  
兄 早く……！  
父 兄ちゃん、諦めた方がカシコイで……  
兄 しゃあないなあ……  
父 ほら……  
兄 明日のために、その、えーと、十三、ヒンズー・スクワット五百回……！  
父・弟 いや、それは死ぬわ……  
兄 何でやねんな……  
父 明日を探すにはな、現実感覚いうのんも大切なんやで……  
兄 ほな、明日のために、その十四、伏臥上体反らし……！

三人、揃って伏臥上体反らし。

弟 (反らしながら)「こ、これは、何の役に……?」  
兄 (反らしながら)「超人キック」をのけ反ってよけると、役に立つやろ……  
父 (反らしながら)それやったら、伏臥上体反らしやのうて、ブリッジの方が役に立つんとちゃうんか……?」  
弟 (反らしながら)「そういや、そうやで、兄ちゃん……」  
兄 (反らしながら)「いや、こうやってるとオットセイ臙肭臙とかアシカ海驢みたいやろ……」  
父 (反らしながら)「いや、つまり、アシカのためにその……」  
父・弟 (反らしながら)「……」  
兄 (反らしながら)「……」  
父 (弟に)「やれ……!」  
弟 (忽ち兄に跨るや、両脚を抱え込み)「明日のためにその十五、スコープオン・デスロック……!」  
父 (兄に)「ギブ?」  
兄 (兄に)「ギブ?」  
兄 ノオーツ……!」

振りほどく兄。新たな技に走る弟。対抗する兄。レフェリーになる父。いつの間にか、プロレスの特訓に成るが、「明日のためにその〇〇」という台詞だけは続けている。

父 (漸く我に返り)「待て、何かおかしいぞ……」  
兄 せや、これやったら、プロレスの特訓やないか……!」

父 何でプロレス成つとんねん……!」  
父 あ、俺、こういう特訓やったら、毎日やってもええなあ……  
父 こんなことではアカン……  
兄 何や、やっぱボクシングでないとアカンのかいな……?  
弟 別にええやん、「明日のために」云うてやらんかて——  
父 いや、明日はきつと……  
兄 きつと……?  
父 きつと何かあるんや……!」

途端に、案内も乞わず、「あしたのジョー」を歌いながら這入ってくる、喫茶店「アミーゴ」のマスター。

おやっさん オラ・コモ・エスタイス・アミーゴス やあ、友たちよ、元気か? (Hola! ¿Cómo estás, amigos?)……?  
父 カロス・リベラか、それともホセ・メンドーサか……?  
兄 いや、どつから見たかて、喫茶「アミーゴ」のマスターや……  
おやっさん いやあ、いつ見ても、元気そうやねえ、大変宜しい、大変宜しい……  
弟 おやっさん、何で急にスペイン語やねん……?  
父 いや、そら、店に「友人」アミーゴてな名前付けてはるくらいやねんから……

兄 実はスペイン語に堪能な人やったんか……  
おやっさん いや、逆ですわ……

兄 逆……？

おやっさん いやあ、恥ずかしながら、先だつて、ふとしたことから「アミーゴ」の意味を知りましてな……

弟 え、知らんかったん……？

おやっさん 初めてスペイン語やと判った次第で……

父 ということは、知らずに……？

おやっさん いや、昔よう見てたテレビ・ドラマに出てきた喫茶店が「アミーゴ」いうたもんですから、「喫茶店」アミーゴという図式が、いつの間にか出来上がつてしまつてたんですなあ……

父 なるほど……

おやっさん ところがあんた、anigo てスペイン語で「友だち」いう意味やそやないですか……。いやも

う、吃驚<sup>びっくり</sup>してしても……。以来、スペイン語の勉強始めたいうわけですわ、さあ勉強しましょう……

……

兄 (父に)何て云うたはんの……？

父 さあ……

弟 (思い切つて、おやっさんに)今のは、何て……？

おやっさん さあ、ラジオ講座で云うてたゞけですさかい……

父 それ、全然勉強になつてませんかな……

兄 ところで、何か御用ですか……？

おやっさん いや、偶々前を通つたんで、一寸弟クンの顔でも見て行こかなあ、思いまして……。何しろ、

最近、ウチも暇で、ご無沙汰やつたさかい……

父 いやいや、(弟を指し)こいつがお世話に成つとります……

おやっさん いやいやいや、こちらこそ、エライ助かつてます……。ほんま、忙しいときだけのシヨート・バイトで悪いんやけどね……

兄 どこのバイトも長続きさせへんかったこいつが、「アミーゴ」だけは続けているいうことは、よっぽど性に合つてんでしようなあ……

おやっさん いやいやいやいや、さあ勉強しましょう……

ペーモス・ア・エストゥディアル

兄 せやから、それどういう意味やねん……？

父 (兄を制して)まあまあ、あ、才兄ちゃん、例の、あの、お前の買ってきたお茶、お出しせんかい……

兄 お茶つていなあ……！

父 しつこいやつちやな……えーと、あの、何やつたっけ……？

弟 ヘルシー・グリーン・ドリンク……

父 そうそう、その、略して「グド」いうヤツを……

兄 そんな風に略すなあ……！(ト、文句云いつとも、奥へお茶を淹れに行く)

おやっさん いやもう、お構いなく、勝手に寄つたゞけでっさかい……

父 あゝ、勝手にね……

おやっさん 時にお父さん、さつき、何か、「明日のため」がどうとか、云うてはりませんでしたやろか……

父 ……？  
あ、聞こえてましたかあ……

おやっさん 何ですか、その、トレーニングとかしてはったんちやいますのん……？  
弟 何で判るんですか……？  
おやっさん そら、もう、「明日のため」いうたら、トレーニングに決まってるがな……  
父 あ、マスターも……？  
おやっさん 読んどりました、『少年マガジン』……！  
父 矢張り、右手には『朝日ジャーナル』……？  
おやっさん いや左手に。矢張り、朝日が右では立ちゆきまへんやろ……  
父 (膝を打ち)なるほどッ……  
弟 何の話……？  
おやっさん (遠い眼)そういう時代があったんや……  
父 (同じく遠い眼)あゝ、眼を閉じれば甦る……  
おやっさん 一九六八年一月、「あしたのジョー」、『少年マガジン』で連載開始……  
父 おやっさん 一九七〇年三月二十四日、力石徹告別式……  
おやっさん 一九七一年四月、「仮面ライダー」放映開始……  
父 一九七三年五月、「あしたのジョー」連載終了……  
父・おやっさん あゝ、「わたしの彼は左きき」……！

ト、一九七三年七月発売の「わたしの彼は左きき」を歌い出そうとする二人を周章  
てゝ止める弟。

弟 いや、もう判ったから……

おやっさん 何で止めんねんな……？  
父 麻丘めぐみも知らんクセに……！  
弟 いや、近所迷惑やから……  
父 「左」やからアカンのか……？  
おやっさん 「右きき」やったら、歌になれへんがな……！  
弟 ちやうつてば……  
兄 (お茶を持って戻ってくる)何や何や……？ おやっさんもトレーニングはんの……？  
弟 いや、何や、お父ちゃんとおやっさんが、野合的に共闘してしもて……  
兄 は……？  
おやっさん よど号ハイジャック犯人はこう云うた、「最後に確認しよう。我々は明日のジョーである」……  
父 ……  
父 昔は、みんな「明日」を信じとったなあ……  
弟 結局、大失敗やったやないか……  
兄 まあまあ、(声を落とす)明日無き身空の年寄りが懐かしがつてんねんから、暖かく見守つといた  
れや……。 (戻つて)おい、机……  
弟 (部屋の隅に片付けられてた卓袱台を持ってきて、中央に据えつゝ)大体、二十一世紀に、三十年  
前を回顧してどないすんねんな……  
おやっさん あ、弟クン、過去を莫迦にしたらアカン……！ 過去あつてこそその未来……  
弟 そりやそーでしょーが……  
兄 ハイ、ヘルシー・グリーン・ドリンク…… (ト、茶碗を並べる)  
おやっさん まあ、エライおゝきに…… (早速、啜る)

父 (咳くように) まあ、「明日は我が身」いう諺かて、あるしな……  
弟 どないしたん……………?

父 いや、別に……

兄 そういえば、おやつさん、さつき、「仮面ライダー」て云うてはりましたよね……

おやつさん 云うたで、一九七一年四月、仮面ライダー1号登場ですわ……

兄 それって、悪の秘密結社の出てるヤツですよ……?

おやつさん いやあ、最近の若い子おは、シヨツカーも知りまへんのかいな……?

兄 いや、名前は……

おやつさん シヨツカーというのは、世界征服を狙う悪の秘密結社ですわ。ナチス・ドイツの残党が、何やよう判らんけど、ルパン三世の銭形警部や宇宙戦艦ヤマトの沖田艦長みたいな声の首領に率い

られて出来ましてん……。ほんで、何で知らんけど日本を中心に、ヨーロッパや南米に支部を持

つとつて、人類を管理支配下に置くために、日夜努力してましたんやがな……

父 いや、ようご存じで……

おやつさん 常識々々、こんなもん、昔のライダー・ミアやったら、寝言でかて云えまつせ……

兄 あのー、これは、飽くまでも可能性のハナシなんですけどね……

おやつさん 何ですか……………?

兄 もしかして、あないな悪の組織が、現実に、この世界のどつかにあり得たりなんかしたりなんかしちゃったりしませんかね……………?

おやつさん 何云うてんねんな、あないなもん、テレビに決まってまんがな。そない毎週、悪の組織が、世間を騒がせますかいな……

兄 そりゃまあ、そうやけど……………

おやつさん 大体、何やねん、幼稚園バス乗っ取つて、どこが世界征服やねんな、あれはアカン、あれはアカンわ……………

父 ハッハッハッハッ、そーですなー、まあ、何というても、あれはテレビですからなあ……………。ツクリモンの絵空事ですわ……………

おやつさん でしょう……………?

兄 けど、当時の子供たちの中にかて、シヨツカーみたいな悪の秘密結社に、その、憧れたりしませんでしたかね……………?

おやつさん え……………?

兄 いや、何か、「シヨツカー」とか、「ヒミツケツシャ」とかいう響つて、一寸カツコえゝ感じしますやん……………

おやつさん オ兄ちゃんなあ、幾らカツコ良くたつて、「悪」やで、「悪」……………? そんなん好きな類廢的デカダンな奴なんて、ボードレールくらいやがな……………

兄 ハハハ、そーですよね……………ハハハ……………

弟 何ですか、そのボードレールって……………?

おやつさん 詩人やがな、フランスの……………(父のベルトに眼を留め)あ、そういえば、こないなベルトしとつたなあ、シヨツカーの怪人たち……………

父 あ、これね、そう、よう云われますわ、似てるなあ、て……………

おやつさん けど、お父さんは商売熱心やなあ……………

父 商売熱心……………?

おやつさん ほら、お宅んとこ、ホラ、その、一家総出の広告宣伝業、いうヤツでっしやろ……？  
父 コーユクセンデンギョー……？

おやつさん 駅前や商店街やスーパーの駐車場でビラ撒いたり……

兄 いや、ウチはね——

おやつさん こうゆう恰好して、子供とか集めてねえ……

父 マスター、実は——

おやつさん 判ってまんがな、いつの時代かて、お猿さんは人気モノですよってなあ……。しかも、この着

ぐるみを、家でも着たはる……。いやあ、商売熱心や、並のモンには到底真似でけまへん……！

弟 まあ、真似はでけんやろけど……

おやつさん せやろ……？ まあ、才兄ちゃんと弟くんが時々やつてる全身タイツ姿は、何を表しとんの

か、よう判れへんけどな……

兄 いや、あれはね——

ところへ、玄関で、ミチの音がする。

ミチの声 ごめんくださいーい……

弟 あ、ミチさんや……

ミチの声 すいませーん、弟くんいますかー……？

弟 (些か狼狽うろたえ)あ、いや……

兄 あゝ、居てますよ……

上がってくるミチ。サンドイッチを持っている。

ミチ 差し入れ持つてきましたあ……あ、マスター……

おやつさん 何や、ミチ、何しにきたんや……？

ミチ ホホホ……

おやつさん (サンドイッチに眼を留め)あ、こいつ、売りもんちやうんか、これ……！

ミチ まあまあ、減るもんやなし……

おやつさん 減るわ……！

ミチ それより、きよう、ウチ、夕方であがるて云うてたの、忘れてるでしょ……

おやつさん あ……

ミチ こんなとこで道草なんか食ってんと、はよ戻ったほうが……

兄 ミチさん、これは道草やのうて、ヘルシー・グリーン・ドリンクいうて——

ミチ (窓辺の鉢植えに近付いて)いやあ、こんな、買ったんや……

兄 あ、それ、僕が……

ミチ へえ、才兄ちゃんが……

弟 何か、自家製栄養剤の実験材料にするんやて、特殊な栄養与えて——

兄 いや、それより、ミチさん、何で、サンドイッチを……？

ミチ せやから、差し入れ……

兄 誰に……？

ミチ 弟クんに決まってるやんか……

弟 俺に……？

父 何で……？  
ミチ (うつとりと) 躰、おつきいから……  
弟 は……？  
おやつさん それより、ミチがそこにおるいうことは、今、店は……？  
ミチ せやから、はよ戻らんと、誰もおれへんし……  
おやつさん えーッ？ おいおい、何ちゆうことすんねんな、あ、ほな、皆さん、お邪魔さんでした……

慌たしく飛び出していくおやつさん。  
呆気に取られたまゝ見送る三人。  
ト、戻ってくるおやつさん。

父 な、何か……？  
おやつさん えーと、別れ際の台詞、何やったか……  
ミチ また、スペイン語……？  
兄 熱心やなあ……  
おやつさん えーと、えーと……  
四人 ……  
おやつさん おゝ、そうやッ、アディオス、マニャーナまた明日(¡Adiós, hasta mañana!)……！  
父 アスタ、マニャーナ……  
兄 (弟に)ほんま、あの熱心さ、お前も見習わんかい……

弟 兄ちゃんには関係ないやろ……  
兄 あのなあ、お前——  
父 アスタ、アスタ……  
ミチ どないしはったん……？  
父 (ガバと立ち上がり)アスタはどつちだ……！

ストンと暗転。  
闇の中、鉄橋を渡る電車の音がする。

### 3 行雨 la pluie qui s'en va

電車の音、聴て、雨の音に変わる。  
明るくなると、無人の部屋。  
やゝあつて、傘と郵便物を手にした弟が帰ってくる。  
弟は、ピンクチラシの束を片端からゴミ箱に抛り込んでゆき、最後に、ダイレクトメールの類を纏めて棄てると、残った分厚い封筒の差出人を確かめ、少し嬉しそうに封を開けると、中から手紙と文庫本を取り出す。  
暫し、手紙に見入る弟。それから、文庫本に眼を移す。

弟 詩集……？

卓袱台の前に腰を落ち着けると、文庫本をばらばらめくる。

弟 忍びてゆけ

突破しながらゆけ

頭をひくくたれひくくたれ

死ぬことができぬほどしつこくゆけ

(無題「晩秋」)

ト、玄関をノックする音。顔を上げる弟。

弟 はい……？

ミチの声 弟クンおるー……？

弟 あ、ハイ……。一寸待つてな……

弟、周章で、辺りを片付け、玄関を開けに行く。

例によってサンドイッチ持ったミチが這入ってくる。

ミチ 手紙、読んでたやろ……？

弟 え……？

ミチ マユミちゃんやっつけたっけ……

何でそれを……？

ミチ (弟の隠した文庫本を引つ張り出し) ふーん、『八木重吉詩集』か……。知ってる……？

弟 (文庫本を取り返し) いや、全然……。それより、何でマユミちゃんのことを……？

ミチ ライヴァルやから……

弟 は？ ライヴァルって……？

ミチ (部屋のうちこちを丹念に見て回っている) 火曜やのにおるんやね、きょうは……

弟 トレーニング、雨で中止やから……。なあ、何でマユミちゃんのこと……

ミチ (見回り続け) でも、お父さんとオ兄ちゃんは……？

弟 自主練、トレーニング・ジムに……。いや、何探してんの……

ミチ (見回り終えて) 行かんでええのん、弟クンは……？

弟 え、ねん、自主練やし……。ところで、マユミちゃん……

ミチ えーと、その、広告宣伝業サンやのに、大変やね、トレーニングで……

弟 いや、まあ……。せやから、マユミちゃん……

ミチ 座布団はあそこやっただね……。ト、勝手に座布団を出してきて敷く

弟 よう判りましたね……

ミチ まあね……

弟 で、さっきのマユミちゃんの……

ミチ 弟クン、将来のこと、考えてる……？

弟 は？ 何ですか、急に……

ミチ 結婚したら、子供は何人？ 住むんやったら、一戸建て？ それともマンション？ マンションやっただ



ら、京阪沿線がえゝ？ 地下鉄沿線がえゝ？ 地下鉄やったら、谷町線がえゝ？ 長堀鶴見緑地線がえゝ……………？

弟 いや、何で、そんな質問を……………？

ミチ 早くっ……………！

弟 え、いや、マンションかなあ、で、やっぱ御堂筋沿線が……………

ミチ (手帖を取り出して、メモし始める)「マンション」「御堂筋沿線」と……………

弟 あー……………

ミチ 子供はッ……………？

弟 いや、そんな、まだ、子供なんて……………

ミチ お受験させる……………？ 学費高いから、やめとく……………？

弟 一寸待ってくださいッ、判りませんよ、子供のことなんて……………

ミチ え、弟クン、将来のこと、考えてへんの……………？

弟 将来……………

ミチ 弟クンかて、いつ結婚したかておかしい歳やねんで……………

弟 いや、結婚なんて……………

ミチ ほな何？ マユミちゃんは何やのん？ えゝなあ、思てんのやろ？ そやのに将来のこと考えてへんと

は、どーゆーこっちゃ……………！

弟 いや、どうも……………

ミチ 遊びなんか？ かるーいノリで文通しとんのか……………？

弟 いや、携帯持ってたら、メル友とかになんのやろけど、俺、金掛かるから、持ってへんし……………つて、どうしてそんなことを……………？

ミチ イシダ・マユミ、元マクドナルド千林店のアルバイト、筑波大学二回生、現在休学中……………

弟 そんなことまで……………

ミチ ライヴアルの情報ぐらい、とづくに入手済みや……………

弟 ライヴアルって……………？

ミチ 知らんのかいな、ライヴアル？ 矢吹丈にとつての力石徹みたいなもんやんか……………

弟 ミチさんまで……………

ミチ まあ、どつちかいうたら、ウチが力石かな……………

弟 いや、知ってるがな、ライヴアルぐらい……………。何のライヴアルやって訊いてんねん……………

ミチ アラ……………

弟 アラやないでしょ……………

ミチ 知らんかったん……………？

弟 知りませんよ……………

ミチ (はにかんで)そんなん、ライヴアルいうたら、決まってるやん……………

弟 まさか、バンタム級の……………？

ミチ アホやな、恋やがな恋……………

弟 恋ッ……………？

ミチ 負けへんで……………！

弟 ちよ、一寸待ってくださいよ……………

ミチ さあ……………？

弟 さあ……………

ミチ 恋する女と栃東には待ったはあれへん……………

弟 いや、するで、栃東かて、待ったぐらい……  
ミチ ごちやごちや云うてんと、さあ……？

弟 何なんですか……

ミチ 将来設計やがな、弟クンの。そないな『八木重吉詩集』送ってくるネクラな国立女子大生と、喫茶「アミーゴ」のアイドルにして、将来の店長候補、このウチと、どっち取るツ……？

弟 ミチさんバイトのくせに、店長候補なんですか？ しかも、アイドルつて——

ミチ じゃかアレッ！ 大体、八木重吉やで、八木重吉。明治三一年生まれで、御影とかで英語の先生しとつたんやけど、昭和二年、二十九歳で結核で死亡……

弟 詳しいですね……

ミチ (いつの間にか、文庫本を手にしている) そんなもん、こゝに書いたあるがな……

弟 アツ、いつの間！ 一寸、返してくださいよ、それ……(ト、取り返そうとする)

ミチ (逃げ回つて) よりにもよつて、こないな若死に詩人の本を送ってくるんやから、その国立女子大生も、将来のことなんか、栃東の身長ほども考えてへんに決まつてる……！

弟 何なんですか、その諭え……

ミチ (文庫本を適当に開いて読む)

弟 蟲がひとつないてゐる

ミチ あとは皆死にたえたのであらう

弟 ふしぎなこと

ミチ なんとなくれたのしくこの蟲の音がきこえる

弟 (蟲「晩秋」)

ミチ やて。暗い、暗いわー！ 根が暗いにもホドがある……！

弟 マエミちゃんを莫迦にしたな……！

ミチ しかも現在休学中の引き籠もり、昔は千林マクドのアイドルやとか云われてたんやろけど、首都圏じゃその程度の可愛い子オなんて仰山おるもんやから、大方ガツクリきてしても、学校へも行かんように——

弟 そんなことで落ち込んだりせえへん、マエミちゃんは……！

ミチ まあ、その手紙には、そないな深刻なことは書いてへんけどな……

弟 読んでもないくせに……

ミチ 封筒の封いうんは、簡単に剥がせるんやで……

弟 読んだんかいッ……？

ミチ 弟クンも、女の子の気イ惹きたいんやったら、近所の猫が子オ産んだとか、才兄チャンが鉢植え買ってきたとか、そないなショーモナイ身辺雑記以外に、書くことあるやろ……？

弟 まさか、俺の書いた手紙も……？ いや、あり得へん、そんなこと……

ミチ 手紙の書き損じは、ちゃんんと細かくちぎって棄てやなあかんで……

弟 ゴミ拾ろたんかいッ……？

ミチ 兎に角、そんな国立女子大生とウチやったら、どっちに将来性があるやなんて、栃東の押し相撲

弟 より一目瞭然……

ミチ どないしたん……？

弟 ……

ミチ 弟クン……？

弟 将来々々つて、そんなん、俺、判らへんから……

ミチ そう云うやろと思てたわ……  
弟 え……？  
ミチ 何しろ、弟クンのことやったら、なーんでも知ってるし……  
弟 せやからつて……  
ミチ 弟クンは、実は、将来のことで悩んでんねん……  
弟 そんなとちやう……  
ミチ いや、悩んでるはずや、仕事のこと……  
弟 それは……  
ミチ ほーら、凶星や。お父さんの跡を継いで、広告宣伝業者になるべきか——  
弟 何でも知ってるくせに、何でそこだけ判らへんのやろ……  
ミチ まさか、今更、国立女子大生と一緒に大学行こやなんて、思てへんやろね……？  
弟 マユミちゃんの……？  
ミチ 折角、そんなえゝ躰してんねんから、大学行くなんて勿体ない……  
弟 放つといてください……  
ミチ けど、あこの大学、体育系いうのんがあつたしな……  
弟 行きませんてば……  
ミチ (時計を見て)あ、もう休憩時間終わりや……  
弟 早よ帰った方が……  
ミチ しゃあないな、最近マスターうるさ五月蠅いし……  
弟 ほら……

ミチ ほな、また来るし、決めときや、将来のこと……(どたばたと帰っていく)  
弟 何云うてんねん、全く……  
座布団を仕舞い、大切な物のように文庫本を拾い上げる。  
弟 (窓の外へ眼を遣つて)雨か……。何や、よう降るなあ……  
手にした文庫本に目を落とし、ばらばらめくってみる弟。  
弟 雨がふつてゐる  
いろいろなものをぬらしてゆくらしい  
「どうしてうつむいてすわつてゐると  
雨といふものがめのまへあらわれて  
おまへはそう悪いものではないといつてくれそうなきがしてくる  
(雨)「しづかな朝」  
ト、帰ってくる兄。

兄 何がうつむいてんねん……  
弟 あ、いや……  
兄 「どう悪いものではない」とつて、悪者やないか、俺ら……

兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟

まあ、せやけど……  
悪の秘密結社の戦闘員が、軟弱なこと云うとつたらアカンで……  
詩心のないやつぢやなあ……  
何か云うた……？  
いや、何でも……  
まあええわ……  
（詩集を眺めながら）なあ……  
何や……  
シヨッカーって、将来性あんのかな……？  
はあ……？  
ほら、一部上場とか……？  
アホか、お前……  
まあ、それはないにしても、何か、こう、パアツとしたこと……  
アホ、シヨッカーなんて、もうとづくにあれへんやろ……  
え？ けど、おやつさんも、「シヨッカー」って……  
あゝ、テレビの「仮面ライダー」のハナシかいな……  
え、けど、ウチの組織……  
ウチの組織がどないしてん……？  
ウチの組織って、もしかして、「シヨッカー」とちごたん……？  
おいおい、常識で考えたかて、悪の秘密結社がテレビで正体を曝すわけないやないか……  
いや、常識で考えたら、俺等みたいな存在自体、あり得へんと思うけど……

兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟兄弟

何や、今まで知らんかったんかいな……  
だって、そつくりやし……  
あ、そら当然や、あのテレビの「シヨッカー」、ウチの組織をモデルにしてんねんから……  
そうなんや……！  
お父ちゃんに聞いてんけど、昔は、随分、戦闘員とか、テレビのエキストラに貸し出されてたらしで……  
貸し出し……！  
（項突いて）せや、そんで、エキストラのギャラ、みーんな、事業部に這入つてしもて、働いた本人には、  
弁当代しか出えへんかったそうや……  
うーん、聞きしに勝る、事業部のセコさには吃驚や……  
いや、組織の正体を今まで間違うてたお前の方こそ吃驚やわ……  
そうやつたんや……  
（窓の外へ眼を遣り）已めへんなあ、雨……  
うん……

間。雨の音が響く。

兄弟兄弟兄弟兄弟

なあ……  
何や……  
兄ちゃん、考えたことあるか……  
何を……

兄弟 将来のこと……  
兄弟 (思わず、お茶を吹き出す)はあ……？  
兄弟 いや、その……  
兄弟 考えてるがな、いつかて。考えてればこそその、健康食品、トレーニング……  
兄弟 あ、そ……  
兄弟 何やねんな……  
兄弟 ……  
兄弟 ……  
兄弟 次の出撃予定、いつなんやろ……  
兄弟 さあな……  
兄弟 兄ちゃん、ほんまは知つてんのちゃうか……？  
兄弟 知つてるわけないやろ、そないな重要事項……  
兄弟 けど、兄ちゃん、赤戦闘員なんやろ……？  
兄弟 赤戦闘員いうたかて、まだまだ下つ端や……  
兄弟 ほな、お父ちゃんやったら……  
兄弟 弱小支局の一支局長やからなあ……  
兄弟 無理かあ……  
兄弟 無理やな……

ところへ、血相を変えて飛び込んでくる父。

父 兄 父 おい、エライこつちゃ……！  
父 兄 父 どないしたんや、そないに周章て……？  
父 兄 父 到頭来よる……！  
父 兄 父 何が……？  
父 兄 父 まさか、ヤツが……？  
父 兄 父 せや……  
父 兄 父 ヤツつて……  
父 兄 父 あゝ、あの仮面超人や……！  
父 兄 父 何云うてんねん……  
父 兄 父 え、ちゃうの……？  
父 兄 父 ちゃうちゃうッ……！  
父 兄 父 ほな、誰やねんな……？  
父 兄 父 来月、アメリカ本部から到着しよるアイツの名前は……  
父 兄 父 アイツの名前は……？  
父 兄 父 ヒトマネユザル男ッ……！

途端に雷鳴が轟き、稲妻が走る。

父 兄 (窓辺に駆け寄り)おい、何で急にカミナリが……？  
父 兄 けど、あんまり強くなさそうな怪人やな……  
父 兄 アホッ……！ お前等、ヤツの恐ろしさを知らんなッ……？

弟 見かけに寄らず、凶暴なんか……？  
父 スットコドッコイツ……！  
兄 じゃあ、一体……  
父 あいつはな……  
兄・弟 あいつは……？  
父 滅茶々々可愛いんじヤツ……！

再び雷鳴が轟き、稲妻が走る。

兄 (又も窓辺に駆け寄り)どこ？ どこで鳴ってるの……？  
父 あゝ、恐ろしい……  
兄 いや、そんなサルのどこが——  
父 莫迦モーンッ！ あんな可愛い怪人に上陸されてみい、同じ猿怪人として、僕の人気、ガタ落ちやないかッ……！  
兄・弟 ほつと(ほつと)……  
父 ワーッハッハッ……！  
兄 何やねんな……？  
父 今に、お前等にかけて、あいつの恐ろしさが判る日がやってくる……  
兄 んな、アホな……  
父 ヤツの可愛さは、忽ち、婦女子のハートをゲットするぞ……！  
弟 それが……？

父 女の子はみーんなヤツの虜、お前等戦闘員風情なんぞ、歯牙にも掛けられぬわ……！  
兄 エッ……？  
弟 兄ちゃん……  
父 喝ーッ……！  
兄・弟 (忽ち畏まって)はいッ……！  
父 戦わずして勝利なーしッ……！  
父 けど、どないしたら……  
父 可愛なるんや……ヤツよりも……  
父 お父ちゃん、それはムリあるわ……  
父 いや、それしか手はない……！  
父 (父のベルトに挟んである紙に気付き)あ、お父ちゃん、それ、組織の新聞やろ……？  
父 あゝ、これな……(ト、弟に渡す)  
父 (新聞を開いて眺め)号外や……  
父 よっしゃ、決めたぞ……！  
父 何を……？  
父 行ってくるわ……  
父 どこへ……？  
父 エステに決まってるやないか……  
父 何しに……？  
父 鈍いやつちやな……。エステでイケメンになつてくんのやないか……

兄 父 兄 父 兄 父 兄 兄弟 兄弟 兄弟 兄弟 兄弟 兄弟

お父ちゃんが……？  
当たり前や。ヒトマネコザル男の可愛さに対抗するには、男前に成るしかないッ……！  
いや、あのね——  
ナーニ、土台がえささい、そないに苦労はいらんやろ……  
そんな無茶苦茶な……  
ほな、行つてくるわ……！（ト、飛び出していつてしまう）  
あ、お父ちゃん……！ 行つてもた……。大体、何がイケメンやねん、「お湯入れてから三十分も経つてもブヨブヨにふやけたカップ麺」みたいな顔して……なあ……（ト、弟に同意を求めぬ）  
……  
何や、号外か……ちゆうことは、また、誰ぞやられよつたんか……誰や……？  
キタキツネ男……  
また、寒い時期に寒いと行つて戦いよんなあ、仮面超人も……。それとも何か？ やっぱ例のドラマの影響か？ 「北の支部から 2003 遺言」って、全然シャレに成つてへんがな——え、キタキツネ男……？  
うん……  
ちよつと、見せてくれ……（ト、号外を引つたり、見入る）、「富良野支局長キタキツネ男他戦闘員二十六名が殉職」……  
兄ちゃん……  
……  
誰か、おつたん、知り合いとか……？

兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄

ん……まあな……  
おつたんか……  
同期のヤツでな、平戦闘員の時、よう一緒に遊んだんやけどな……  
……  
例のドラマが大好きで、北海道支部に転勤希望出して、赴任しよつたんや、三年前に……  
兄ちゃん……  
何や……  
いつか、俺等も——  
いや……  
けど……  
前に云うたやろッ、俺の辞書に「シ」の項はないんやッ……！  
兄ちゃん……  
ト、鉄橋を渡る電車の音。  
暗転。

4 孤風 *le vent seul*

電車の音、聴て、千林商店街のテーマに変わる。

明るくなると、無人の部屋。弟が帰ってくる。  
弟、テレビを点けると、鞆の中から、何やら学校の入学願書のようなものを取り出して眺め始める。  
やゝあつて、兄も帰宅する。周章てゝ願書を隠し、テレビに見入る弟。

兄 早かつたなあ、今日……  
弟 うん……  
兄 まさか、潰れたんとちやうやるな、バイト先……  
弟 アハハハ……(ト、ぎこちない笑い)  
兄 お前、その笑い方、滅茶々々不自然やぞ……  
弟 いや……  
兄 まあ、えゝわ……  
弟 実はな……  
兄 あ……？

ト、突然、奥から現れるミチ。

ミチ 辞めてん……  
兄・弟 ミチさん……！  
兄 辞めたて、何を……？  
ミチ バイト……

兄 バイトて、「アミーゴ」を……？  
ミチ イヤやわあ、何云うてはんの……  
兄 ハナシが些ちつとも見えへん……  
ミチ 弟クンやんか……  
兄 何が……？  
ミチ 辞めたの……  
兄 こいつが……？  
ミチ うん……  
兄 辞めたあ……？  
ミチ そう……  
兄 ほんまか、お前……？  
弟 うん……  
兄 お前——また——辞め——あゝ、もうッ……  
弟 大丈夫やつて……  
兄 (弟の横に坐わり込み)何が大丈夫やねん……？ お前、これで何回目や思てんねんな……  
ミチ 九回目……  
兄 ミチさんに訊いてへんでしょ……！  
弟 ごめん……  
ミチ まあ、弟クンなりに、将来のことを考えてのことやんなあ……？  
兄 ミチさんは黙って……！





兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄 弟 兄

(手紙をしまつて)何や、急やなあ……  
兄ちゃん……  
さあ、忙しかったでえ、やらんなんこと山ほどあるわ……  
やらんなんことつて……  
え、あ、あ、掃除や掃除……(ト、掃除機を出してくる)  
俺が昼やつたし……  
あ……。そしたら、買いもん行つとこか……  
もう行つたし……

えーと、ほな、洗濯や洗濯……(ト、洗濯物をかき集めて、籠ほうに抛り込む)

兄ちゃん……

何や……

俺……

ところへ、どたどたと帰つてくる父。

父 兄 父 弟

(兄を認めて)おう、帰つとったんか……!

あ……

ほんま、時代遅れやよなあ……。きょうび、喫茶店で暗号の受け渡しやなんて、テレビでもやつてへんで……。何で、メールとか使わへんねん……

お父ちゃん、パソコンも携帯も持ってへんやん……

父

気分やがな気分。ほんま、IT化の波に乗り遅れまくりやがな……(ト、ポケットから紙切れを取り出す)

お父ちゃんは直接呼び出されとったんか……

それで遅なつたんやがな、いやな、使いで来とったヤツが、戦闘員時代の同期のヤツでな、トカゲ男さんの下で一緒に働いたんが最初やつたかな、まあ、古い付き合いやねんけど、アイツが本付きになつてからナカナカ会われへんで、そのうち年賀状も途絶えてしもてな、そしたら、今日、アイツがワザワザ指令を伝えに来てくれたんや。ほんで、つい、一杯行こか、いうことんなつて……

お父ちゃん……

いやあ、指定された喫茶店行つてみたら、何や見知らん嵩張つたヤツおんな、思てたら、アイツやねん。アイツ、ゾウアザラシ男に改造されとったんや。いや、こつちもこないに改造されとるやろ、お互い、最初は全然判らへんかつたわ……

お父ちゃん……!

何や、ちよびーつと呑んだだけやがな、あ、今度、特勤手当這入るはずやから——

お父ちゃん……(ト、真つ黒な封筒を渡す)

(受け取りながら)ほら、これや。ほんま、もう、電子メールどころか、これじゃ原始メールや……

(ト、自分の駄洒落に一人でウケる)

俺も……

(封筒の中身を広げながら)あ……せやな……  
来週の水曜つて……

ちやう……

え……

兄 父 弟 父 兄 弟 父 弟

本社付きの怪人が、わざわざ伝えに来よったんや、重要な連絡に決まっとる……  
重要な連絡つて……？  
まさか……

(姿勢を正し) 関西本社管轄北河内支部内千林支局支局長ニホンザル男は、同支局所属戦闘員  
1号と共に、明朝まるひる〇六〇〇時、万博公園に出撃する……！

(腕を上げ) イーツ……！  
なお、朝食の配給はしないので、各自済ませておくこと！ 以上……！

……俺は……  
戦闘員2号は、追つて沙汰あるまで待機……！

……

おい……  
(腕を上げ) イーツ……  
(弟の肩に手を置き) まあ、安心せい……

……  
明日の朝飯は、コンビニで買つてくから……  
あんなあ、お父ちゃん——

晩飯は、せやなあ、何しろ、組織初勝利やからなあ、「仮面超人打倒祝勝会」とかあるやろから、  
遅なるやろしなあ、あ、けど、そないなつたら、これは関西本社全体の会になる、いや、組織の全世  
界的な祝勝会になるやろから、お前も呼ばれるかもしれへんし、とは云うても、明日イキナリは無  
理やろから、取り敢えずは、関西本社の戦闘局だけの内輪の会やろか、まさか北河内支部だけの

祝勝会になることはあれへんやろけど——  
ほな……

ん……？  
待つてるわ……

うん……  
バイトあるから、行かれへんし、祝勝会……  
あ……

……

……  
さつ、今日は、早よ寝るで、明日早いんやから……！ (布団を伸べるため、その辺のものを片付け  
出す)

兄ちゃん……  
(ふと手を止めて) せや、支局歌の練習しとかなアカンのとちゃうやろか……？  
いや、でも時間、遅いし……

何云うてんねんな、歌わされるで、明日、祝勝会で……  
そら、まあ、せやろけど……

まあ、そないにあるこっちゃなし、ご近所さんも、大目に見てくれはるやろ……  
うーん……

(構わず、大声で) 御近隣の皆さん方に申し上げます、当、悪の秘密結社関西本社管轄北河内支  
部内千林支局、日頃のご声援の甲斐あって、明朝出撃となりました！ つきましては、只今より、  
出撃前の景気づけとして、支局歌を歌わせて頂きます。夜分、お寛ぎのところ、まことに恐縮至

極ではございますが、何卒ご理解を賜りまして、僅々十分ばかりの間、ご辛抱の程をお願い申し上げます……………!

父・兄 正義敗れて 山河在り

人生足別離(「サヨナラ」ダケガ人生ダ)

我等の威光 とこしえに

世界制覇を果たすため

小さなコトからコツコツと

一、十、百、千、千林イーツ

嗚呼 我等北河内支部内千林支局

(弟に)ほら、どないしたんや……………

(渋々歌い出す)城春にして 悪深し

三人 勸君金屈脛(ゴノサカヅキヲ受ケテクレ)

我等の希望 はるかへ

世界征服目指すため

大きなコトは後回し

一、十、百、千、千林イーツ

嗚呼 我等北河内支部内千林支局

溶暗。

支局歌の曲高まって――。

5 寒月 RECHERCHÉ la lune hivernale

曲、そのまゝ鉄橋を渡る電車の轟音に変わる。

夕方の茶の間。無人。

やゝあつて、弟が、お湯を入れたカップ麺を持ったまゝ這入ってくる。

卓袱台の前に坐わり、どこからか『八木重吉詩集』を出して、眺める。

弟 ……(ふと、眼の止まった頁を読む)

蟲がひとつないてゐる

あとは皆死にたえたのであらう

ふしぎなことに

なんとなくなつたのしくこの蟲の音がきこえる

(蟲「晩秋」)

……………(また頁を繰る)

忍びてゆけ

突破しながらゆけ

頭をひくくたれひくくたれ

死ぬことができぬほどしつこくゆけ

しつこくゆけ……

弟は、詩集に見入りながら、カップ麺を食べ始めようとする。ト、おやっさんの声がする。周章て、詩集をどつかへ仕舞い込む弟。

おやっさんの声 フエナスノーチエス  
こんばんは、おー、帰ったんか……！

弟 な、何ですか、今日は……？ 俺、今から食事なんですけど……

おやっさん (上がり込んでくる) いや、見た判るがな、それくらい……

弟 用事やったら、また後にしてもらえますか……

おやっさん まあまあ、遠慮せんと……

弟 こういうのんを遠慮とは云いませんツ……

おやっさん (額を抑えて) あー……！

弟 何ですか、急に……

おやっさん アカンで、アカンがな……

弟 何がですか……？

おやっさん こないな躰に悪いもん食うてからに……！

弟 ほつといてください……(ト、食べようとする)

おやっさん (奪って) ほつとけるかいな……！

弟 (奪い返して) 何ですか……！

おやっさん (又も奪い) キミな、親父さんも才兄チャンも長いこと留守したはんねんやろ……？

弟 (奪還) だから何やいうんですか……？

おやっさん (略奪) その間、おっちゃんが親代わりせんで、どないすんねんな……！

弟 (みたび奪還) 別にええですよ、そないに気を使こてもらわんでも……！

おやっさん (よたび取り上げ、食べてしまう) 何云うてんねんな、あの才兄チャンが知ったら、何ちゆう

て嘆くことか……！

弟 兄ちゃんは、単なる健康食品オタクやっただけですから……

おやっさん 「やった」って、ほな何か、今はもう足洗ろたんかいな……？

弟 え、まあ……

おやっさん 前は、ちゃーんと料理しとった弟クンが、こないなものに手エ染めてもてからに……おっちゃん、もう、何や、涙出るわ……う、涙と鼻水で塩分倍増や……

弟 汚いなあ……

おやっさん あ、躰に悪ウ……やっぱ、返すわ、これ……

弟 いらんわツ……！

おやっさん 何や、急に意見変えよつてからに、訳わからんやつちやな……(再び食べ出す)

弟 (奥へ行って、カップ麺をもう一つ取ってくる) 一人暮らしいうのは、レトルト買った方が安つくことか

てありますから……。それに、一人やと料理作る張り合いもないし……

おやっさん 何や、また持ってきたんか、おっちゃん、もうお腹一杯やで……

弟 これは俺の分ですツ……！

おやっさん さよか……

弟 ほんまに……(食べ始める)何しに来はったんですか……  
おやつさん いや、ちよつと、前通り掛かったもんやから、どないしてるかなあ、と……  
弟 どないもしてませんよ……  
おやつさん 今日もバイト……？  
弟 これから……  
おやつさん 変えたんかいな、時間帯……？  
弟 夜間の方が、ええんです、時給……  
おやつさん けど、ええ加減、フリーターやめて、就職せえんのかいな……？  
弟 就職……？  
おやつさん (カップ麺を示しながら) 駄かてそうや、いつまでも若いやなんて思てたらアカンで……  
弟 はあ……  
おやつさん 若いからこそ、将来のことに氣イ使わんと……  
弟 ……  
おやつさん こんなんばっかり食べとったら、将来、駄がボロボロに……！  
弟 なるんですか……？  
おやつさん そらもう、肩は凝る、腰は痺れる、眼は霞む——  
弟 それつて、単に歳取ったせいでは……  
おやつさん 最近、トレーニングしてるか……？  
弟 それは……  
おやつさん 親父さんと才兄チャンが留守やからつて、ランニングとかサボてるやろ……？  
弟 はあ……

おやつさん ほら、諺にかて云うやろ、「壁に耳アカ、障子に目ヤニ」……  
弟 キチャナイ諺やな……  
おやつさん どんなことかて、誰かの知るところとなる、いうこつちや……  
弟 おやつさんには関係ないやろ……  
おやつさん 鍛えとかなアカンで、駄は……  
弟 何のために……？  
おやつさん せやから云うてるやないか、鍛えとかんかったら、将来、駄がボロボロに……！  
弟 判ったつて、もう……  
おやつさん 大体やな、弟クンは、ちゃんと考えてんのかいな、将来のこと……？  
弟 え……まあ……それは……  
おやつさん このまゝ、ずーつとやつてく心算か……？  
弟 まあ……  
おやつさん そないに、親父さんの後継ぐのんイヤなんか……？  
弟 いや……  
おやつさん 親父さん、立派な……その……広告宣伝業やないか。え、おつちゃん、親父さんが、あのサ  
ルの着ぐるみ脱いでると見たことあれへん。それくらい商売熱心な、宣伝業の鑑や……  
弟 まあ、それは、性質つちゆうか、体質つちゆうか……  
おやつさん 才兄チャンかて、例の何やよう判らん全身タイツ姿で、後継者たらんと頑張つとるやないか。  
今かて、一緒に一ヶ月も出張つて、全国津々浦々営業に廻つてはんのやろ……？  
弟 兄ちゃんは兄ちゃんやし……

おやつさん まあ、百歩譲って、親父さんの仕事がイヤや云うてもやな、将来は考えなアカンやろ、将来は……？

弟 うん……

おやつさん いくら不況でええ仕事ないからいうたかて、いつまでもフリーターではやつてられへんで。今はええがな、若いから。けど、歳取つてみ？ そらもう、肩は凝る、腰は痺れる、眼は霞む——

弟 もうええとちゆうねん……！

おやつさん ほれ、怖いやろ……？

弟 考えてるわ、将来のことくらい……！

おやつさん え、ほんまかいな？ そら偉いッ！ 流石は弟クンや……！

弟 いやあ……

おやつさん で、何なんねん、将来……？

弟 将来……

おやつさん 将来……？

弟 将来は、俺、ラーメン屋になりたい……

おやつさん おお、ラーメン屋ッ！ つて、(カップ麺の容器を示して)今、これ見て、適当に云うたやろ……！

弟 いや、その……

おやつさん ラーメン屋かて、きょうび、ブームや何やかいうて、あつちやこつちやに店でけて、過当競争やとかで、そない安易な気持ちではやつてられへんねんで……！

弟 そうなん……？

おやつさん ほれみてみい、そないなことも知らんとからに、ほんまもう、かなんな、アカンがな、真剣に考えやな……！

弟 ゴメン……

おやつさん ほんで、どないやねん、ほんまのと……？

弟 俺……

おやつさん うん……？

弟 (テレビの方をチラと見て)俳優になりたい……

おやつさん おお、俳優ッ！ つて、(テレビの方を示して)今、これ見て、適当に云うたやろ……！

弟 いや、その……

おやつさん ええがな！ 俳優！ 皆に夢与える仕事やがな……！

弟 あ……え……

おやつさん ほら、日曜の朝とか、「何ちゃらジャー」とか「仮面ライダー何ちゃら」とかやつてるやろ……？

弟 はあ……

おやつさん あれ、最近は、関西出身のイケメンの兄ちゃんらが結構出てんねんけど、大抵「何ちゃらボーイ」とかいモデル出エやねん。せやから、弟クンかて……まあ……せやな……(後向いて)男前とも云えんこともないかもしれへんこともないかもなあいうとこやし……

弟 どないやねんな……！

おやつさん まあ、正義の味方役にならんかて、何ちゃら將軍とか何ちゃら博士とか、悪の手先の、こ

弟 俳優で、特撮モノに限ったわけや——

おやっさん あゝ、せや！ 昔のツレで、堺の方で素人劇団やつてるヤッおんねん。「何ちゃらロマン」いうねんけど、何やつたら、紹介したろか……？

弟 いや、結構です……

おやっさん いや、実はな、おっちゃんも、若い頃は、芝居やつてたことあんねん……

弟 おやっさんが……？

おやっさん まあ、こう見えても、結構、ファン、付いてゝんで……

弟 <え……

おやっさん 嘘や思うなら、今度、店来たとき、昔のファン・レター見せたるわ……

弟 あ、うん……

おやっさん 然し、良かった！ 弟クンにも、ちゃーんと将来の目標があつて！ ウンウン……（独り頂突く）

弟 おやっさん……

おやっさん 何や……？

弟 頼むから、このこと、まだ誰にも云わんとつてな……

おやっさん 何でやねん……？ 俳優になるやなんて、ちつともハズカシことあれへんがな……

弟 いや、一寸な……

おやっさん もしかして、親父さんや才兄ちゃんにも内緒なんか……？

弟 あ、うん……

おやっさん はゝあん……！ 判つたで……！

弟 え……？

おやっさん 将来、俳優になったアカツキには、「何ちゃらライダー・ショー」とかで、親父さんたち雇て、

助けたら、いっこつちやな……？

弟 せやから、何で特撮モンに限定を……

おやっさん 偉いッ……！ 流星は弟クンや、ボーツとして、なーんも考えてへんように見えて、ちゃーんと考えたあるッ……！

弟 はあ、まあ……

おやっさん 心配せんかてえゝ……！ ちゃーんと内緒にしといたるがな……！

弟 ありがと……

おやっさん （腕時計に眼をやつて）おっと、もう店戻らな。（立ち上がり）ほな、弟クン、頑張りや……！

弟 はい……

おやっさん いやあ、何や、おっちゃんも若返った気分やわ……！ 久々に発声練習でもしよか……！

弟 いや、おやっさんが俳優になるわけや……

おやっさん （独り言ちる）せや、秘密結社の首領の役やつたら、声だけでもいけるんちゃうか……

弟 いけへんてば……

おやっさん さあ勉強しましょう……！

弟 パーモス・ア・エストゥディアル

おやっさん せやから、何よ、そのスペイン語は……？

おやっさん （発声練習しながら去る）アメンボ赤いなアイ・ジョージ……

弟 誰やねん、アイ・ジョージ……！

おやっさんの声 柿の木栗の木柿食いたい……



弟 無理からやな……

千林商店街のテーマが微かに流れてくる。

弟 将来、云うたかて……

陸橋を渡る電車の音。

弟 俺……

ト、玄関をノックする音。

弟 (玄関の方を見る)……

再びノック。

弟 ……

勝手に部屋に上がってくるミチ。

弟 ほら、また、勝手に上がってくる……

ミチ えゝやんか、減るもんやなし……(ト云いつゝ、窓辺に向かう)いやあ、もう咲きそうやん、これ……

弟 (意を決したように)ミチさん……

弟 え………?

弟 もう、えゝ加減にしてください……

弟 やめるわ……

弟 え………?

弟 もう、えゝし……

弟 (拍子抜けして)はあ………?

弟 実はな、今度、サティの店員さんで、めっちゃ鉢おっきい人が来はつてな……

弟 サティに……

弟 それが、そつくりやねん、栃東に……!

弟 鉢おっきい栃東つて、矛盾してんのとちやいますか……

弟 ステキやわあ……

弟 ほな、今日は、一体………?

弟 せやから、こいつを引き上げようと思て……(ト、鉢植えの鉢から何やら取り出して、仕舞い込む)

弟 何です、それ………?

弟 あゝ、盗聴器……。結構高いんやで、性能えゝから……

弟 そんなところに……  
ミチ そんなでな、今まで夢見させてくれた弟クンに、お礼や……  
弟 見させた憶えはありませんけど……  
ミチ はい……(ト、レターセットを差し出す)  
弟 (思わず受け取って)これ……  
ミチ 手紙、書くんやろ……  
弟 いや……  
ミチ ほら、もうすぐ、帰ってくるんやろ、こつちに、例の国立女子大生……  
弟 あ、また、勝手に手紙を……  
ミチ まあまあ、もうせえへんし……  
弟 ほんまですか……？  
ミチ うーんと、多分……  
弟 今、眼ヲ泳いだやん……！  
ミチ 退屈にならへんかったら……  
弟 暇潰しに、他人の手紙盗み読みせんとしてください……！  
ミチ えーやんか、減るもんやなし……  
弟 今度読んだら、ぶつ殺しますからね……  
ミチ まあ、弟クンも、精々、将来のこと、考えや……  
弟 大きなお世話です……！  
ミチ ほな……

弟 帰っていくミチ。手にしたレターセットを眺める弟。  
再び、陸橋を渡る電車の音。  
かすかに千林商店街のテーマが流れてくる。  
弟、溜息をつくとき、レターセットを開け、便箋を取り出す。それから、鞆を開けて。ペンを取る時、卓袱台に坐わって、手紙を書き始める。

弟 ……マユミちゃん、元気ですか。例の子猫は、結構大きくなりました。兄ちゃんの鉢植えは、もう少しで花が咲きそうです。その頃は、マユミちゃんも、こつちに戻ってるはずだから、また、見に来てください。  
俺の方は相変わらずです。でも、最近、将来のことが気になり始めました。  
そういえば、マユミちゃんが送ってくれた『八木重吉詩集』の中に、「夕ゆう」という詩がありますね。こんな詩です。  
冬の夕ぐれは  
空がさむそうだ  
木や子供が淡々しくみえる  
何をかんがへても  
ぢきに あどけない物語めいてきそうだ  
(夕「野火」)  
……そう、今の俺の暮らしは、「あどけない物語」です。もしかしたら、ずっと「あどけない」まゝかも知れません。けど、鉢植えの花だつて、いつかは咲くのですから――

ここまで書くと、筆を止め、読み返す。ト、便箋をちぎり取ると、くしゃくしゃに丸めて、ゴミ箱に棄てようとする。が、考えて、ビリビリに引き裂いてから棄てる。手紙を書くのを中断して、文庫本を手にとると、手頃な頁を開いて読み始める。ト、不意に、ドアをノックする音。

郵便配達夫の声 速達です……！

弟 あ、はい……

速達を受け取りに行く弟。

やゝあって、郵便物の束を手にして戻ってくる。

弟は、ピンクチラシの束を片端からゴミ箱に抛り込んでゆき、最後に、ダイレクトメールの類を纏めて棄てようとして、一通の黒い封筒に眼を留める。おもむろに封を切つて、中身を取り出し、眼を通す。

弟

(窓に眼を遣り)……冬の夕ぐれは、空がさむそうだ、木や子供が淡々しくみえる、何をかんがへても、ちぎに――

陸橋の上を、電車が通り過ぎていく。轟音。

ト、轟音途切れ――

弟

あどけない物語めいてきそうだ……

途端に、弟、颯と、戦闘員服の這入った鞆を掴み、飛び出していく。

誰もいなくなった茶の間。流れ出す音楽(ビートルズの *Don't let me down* (1969) 'またはサイモン&ガーファングルの *The Boxer* (1970) 'あるいは泉谷しげるの「春夏秋冬」(1973) 'もしくは、ハッセルベルの「カノン」のような)。

聴て、室内はゆつくりと暗くなり、窓からの西陽だけになる。その中、窓辺に置かれた鉢植えの蕾が、ゆつくりと開いてゆく。

暗転。

幕。

#### 【参考】

せんばやし・ふゆふゆむ(2002) : <http://www.senbayashi.com/> [online available : 2002.11.27].

八木重吉(1925-28) 『八木重吉全詩集』1,2, ちくま文庫, 筑摩書房, 1988.